

# 自動鑄型造形ライン用 鑄枠の加工支援

## 支援の背景

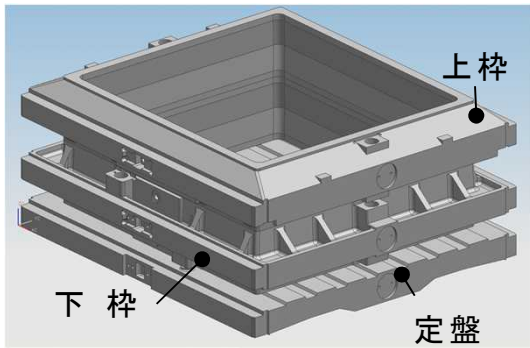
マンホールを製造している沖縄鑄鉄(株)(以下、沖縄鑄鉄)より、新規導入の自動鑄型造形ライン(以下、造形ライン)で使用する「鑄枠」(いわく;鑄型をつくる際に周囲を囲って砂を保持する枠、下図参照)の加工について相談がありました。

造形ラインに必要な鑄枠は数が多いことに加え、サイズが大きいため、側面の加工が沖縄鑄鉄所有のマシニングセンタでは困難なことがわかりました。

## 支援内容

そこで、当センター保有のマシニングセンタ(五面加工機)の利用を提案しました。

この機械は、アングルヘッドと呼ばれるアタッチメントを装着することで、上面だけでなく側面も加工が可能になり、鑄枠側面の堀込み加工やねじ切り加工に、その威力を発揮しました。



鑄枠の全体図



定盤加工の様子(五面加工機)

## 支援の成果

沖縄鑄鉄では予定した数の鑄枠を製作することができ、生産ラインを順調に稼働させることができました。県内で唯一、マンホールを製造している沖縄鑄鉄では、新しい造形ラインのもと、より高品質な製品の生産を目指しています。



鑄枠がズラリと並ぶ造形ライン